

## 平成28年度町長との対話集会 会議録

日 時	平成28年6月7日(火) 19:00 ~ 20:50
会 場	五反田集会所
町執行部	小谷町長、石井副町長、小野瀬町長公室長、小川まちづくり推進課長、米川福祉課長、佐藤こども課長、砂野参事、海老澤町長公室補佐
議 員	今村議長、海老沢副議長
出席者	18名

町 民 ・ 堀割の船着場のことについてだが、台風が来ると道路まで水が上がってしまう。この場所の工事予定はあるのか。

町 長 ・ 津浪・高潮・豪雨などで涸沼川の増水があって、堀割から五反田地区が冠水してしまう状況にあり、それを防ぐには本堤防をつくるのが先決だが那珂川本流に本堤防ができていないため、涸沼川は後回しになっている。しかし、豪雨や津波で心配なので今の護岸を嵩上げて防げるようお願いしている。

・ 五反田から旧船着場の下あたりに大きな排水路がでている。それが増水すると逆流して冠水する。今年は、排水機場（強制排水）をつくるために調査をしている。

町 民 ・ 若見屋平戸線の進捗状況を教えてほしい。

・ 内原町に消防指令センターがオープンしたが、これからもシステムがスムーズに運営できるのか。

町 長 ・ 若見屋平戸線は、最初は町単独補助で始まったが現在は復興支援事業として採択された。相続の関係で難しかった場所も解決し取壊しが始まった。あと数箇所のところも色々な方策を講じてなんとか早く解決できるように取り組んでいる。

・ 指令センターについては、発足するにあたり市町村長で事前協議をし、仕組みが見えず二重構造になると色々な問題が出てくるのではないかと心配していたが、今の装備では連絡してきた位置がすぐに画面にでるようになっていて、指令センターと大洗消防署でも同時に位置情報が確認できる。今のところスムーズに運営できている。

町 民 ・ 指令センターに通報がいったら、地元には指令が入るようになって

ているのか。

- 町 長
- ・ 指令センターと大洗消防署に同時に情報が入る。指令センターから出動指示がでる。
  - ・ もうひとつの利点は、今町には救急車が2台しかなく、2台が出てしまったら消防指令車が消防車と一緒に搬送することもある。そういった時に、近くの水戸分署や鉾田分署から空いている救急車があれば広域的に対応してもらえる。
- 町 民
- ・ 堀割のダイカツの前の道が、水はけが悪く大雨が降ると危ない。
- 町 長
- ・ 県道なので県で対応してもらえるようにする。
- 町 民
- ・ 東海第二原子力発電所の事故があった場合の広域避難計画を各市町村で取り組んでいるようだが、大洗町はこの自治体と連携しているのか。
- 町 長
- ・ 広域避難計画として県から示されたのは、県内では神栖だが神栖では、避難者がオーバーしてしまう。そのため、千葉県方面にも避難できるように進めている。那須・日光・上三川・高崎・榛東村・片品・長野県小海町と災害応援協定を結んでいるので、千葉の方面に避難するのが難しければ、違った方面に避難できるように独自に対応している。埼玉県三芳町とも大洗町と災害応援協定・友好都市を結んでさらに活性化を図り、なにかあった場合は協力し合えるように進めて行きたいと考えている。
- 町 民
- ・ かもめ保育園との懇談会で、交通問題が出て色々と対応してもらったが、ひとつだけカーブミラーをつけてほしい。町道からかもめ保育園に入る角のところに物置ができてしまって、土日には4トントラックが止まっていて右側が見えない状態である。要望してから2年経ったがまだ出来ていないので、出来れば早めをお願いしたい。
- 町 長
- ・ すぐに対応する。また、より良くするために、保育園の下の畑を駐車場にしていく予定である。
- 町 民
- ・ 学校等で、仕事など色々な経験を積んだ高齢者の方などから子供たちに話をする機会はあるのか。

- 町 長
- ・大洗小で言えば、放課後学習でりんりんくらぶ、サタデー文殊塾（サタモン）、100名位のボランティアの方が講師になって昔あそびや工作などをする三人よれば文殊塾などがあり、自分たちが持ち合わせているものを次世代を担う子どもたちへ施していくために取り組んでいる。

閉会 20：50